無痛分娩マニュアル

（目的）
硬膜外麻酔によって分娩時の痛みを軽減し、産後育児をスムースに開始できるよう寄り添う。無痛分娩を２４時間３６５日対応とすることにより、痛みに対する恐怖心を妊娠中から取り除く。

（対象）
赤枝医院でご出産予定のすべての妊婦さま

（方法）
硬膜外麻酔（単独）を用いる

（麻酔前準備）
無痛分娩同意書の確認
２０Gサーフロー針にて静脈ラインを確保し、フィジオ５００mlを開始
児心音聴取、バイタルサイン、分娩の進行状況の把握（内診）
麻酔機材、薬剤の準備

（硬膜外麻酔）
硬膜外穿刺部位：左側臥位にてL2/3もしくはL3/4より穿刺し、上方４cm固定
テストドーズ1%キシロカイン4ml程度
初回、仰臥位にて麻酔薬を５mlずつ10分ごとに２回注入
【麻酔薬；0.2%アナペイン10ml +フェンタニル(0.1mg/2ml) 0.5ml 】
麻酔投与後副作用、合併症の確認をする
麻酔導入後20分間は5分毎に血圧測定、それ以降は30分おき
麻酔導入15-20分後コールドテスト、Numerical Rating Scaleを確認してカルテに記載する
麻酔効果がない場合や片効きの場合はカテーテルの調整や入れ直しをする
（目標麻酔域T10）

（無痛分娩中の管理）
経口摂取可能、帝王切開の可能性が高い場合は絶飲食、原則歩行禁、排尿は助産師による導尿、バイタルサイン、麻酔域の確認、分娩の進行状況の把握（内診）、胎児心拍モニター常時装着

（硬膜外カテーテル抜去）
分娩後２時間、子宮収縮、会陰縫合創の変化がなければカテーテルを抜去
刺入部に異常がないか、カテーテルの先端欠損がないかを確認

２０２５年３月３１日　改定　　赤枝医院